
桐山光の探偵道

猫太助

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桐山光の探偵道

【Nコード】

N5930A

【作者名】

猫太助

【あらすじ】

普段はこれと言って目立つ事はない中学生桐山光。しかし一度事件が起きると彼の本当の顔が表れる！……のか？

プロローグ

だだだだだ・・・

ボタン！

「うああ！遅刻！」

扉を蹴り開けて出て来たのは、桐山^{きりやま}光^{みつる}。東第二鍊量高等学校所属四賀野中学校（ひがしだいにれんりょうこうじょうしょぞくしがのちゅうがっこう）の第二学年の生徒だ。・・・ちなみに、この話の主人公だ。

余りにも長いこの学校の名前を地元の学生はこう略して居る。
四賀中。

あの長さが三文字と言つのも考え物だか、地元の学生は正式名称を覚えているのだからよしとしよう。

「説明長いよ！」突然叫んだ光を見て、どこかの子供が言った。

「ママー。あのお兄ちゃん変な事言ってるよ？」

すると、親であろう声が言った。

「見ちゃいけません！」

その親子だけではない、道行く人が光をなんだコイツ。という目で見ていた。

「・・・くっ。」

それだけ言つと光は学校に向かって駆け出した。

プロローグ（後書き）

初めまして。猫太助と申します。まだまだ未熟ですが、最後までお付き合いくださっていただけたら光栄です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5930a/>

桐山光の探偵道

2010年10月20日12時13分発行